

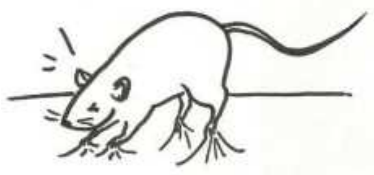
令和4年度 滋賀県家畜防疫研修会が開催されました

令和4年8月23日、家畜防疫研修会がWeb配信およびサテライト会場(アクティ近江八幡)において開催されました。

特別講演では、ネズミ・害虫駆除の専門家である公益社団法人日本ペストコントロール協会の技術委員長 谷川 力氏より『みんなで考える小動物・ネズミ対策』のお話をいただきました。

東京の築地市場が豊洲市場に移転する際、閉場される築地市場から大量に移動するネズミ対策の興味深い話を聞くことができました。

また、疾病発生時やオールアウト時のネズミ対策として、粘着シートの同一箇所への大量設置や、殺鼠剤の散布が有効であること(ただし、粘着シートと殺鼠剤の利用場所は分ける)、畜舎周辺には防鼠壁の設置や、周囲の草刈りなど物陰をなくすことが重要、ということが説明されました。



特別講演の後には県より、

1. 『特定家畜伝染病の発生状況と県の防疫体制』(畜産課)
2. 『飼養衛生管理基準の取組事例』(家畜保健衛生所)

に関する報告がありました。

飼養衛生管理基準の取組事例では、県内でも、限られた施設・設備の中、特に工夫を凝らして取り組んでおられる農家の事例が写真とともに紹介されました。

これから、HPAIのハイシーズンを迎えるにあたり、ネズミや害虫が媒介する病原体の侵入を防ごうと、真剣なまなざしでスライドを見つめる皆さんの姿が印象的でした。これまで以上に飼養衛生基準を遵守し、家畜を伝染病から守るために、より一層のご協力をお願いいたします。(杉本)



サテライト会場の様子